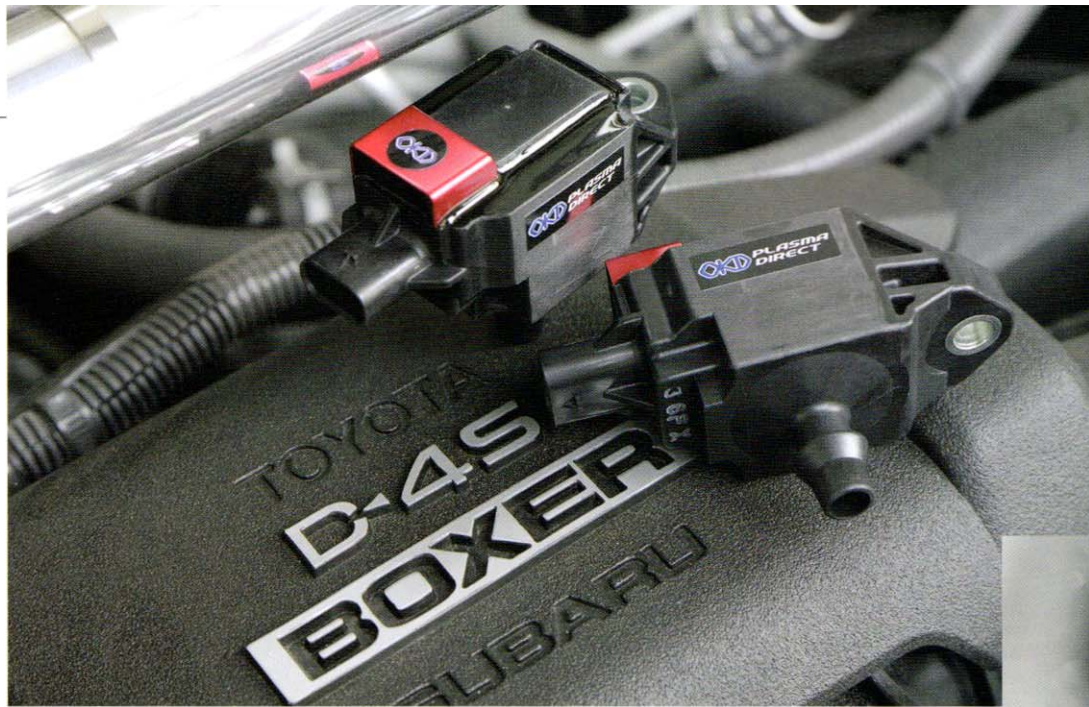


#06

IGNITION

◎ オカダプロジェクト
 ☎044-822-3341
 http://www.okadaprojects.com
 PHOTO: 市 健治



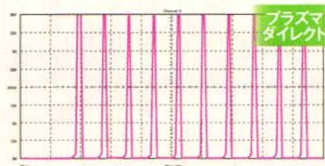
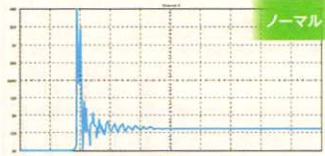
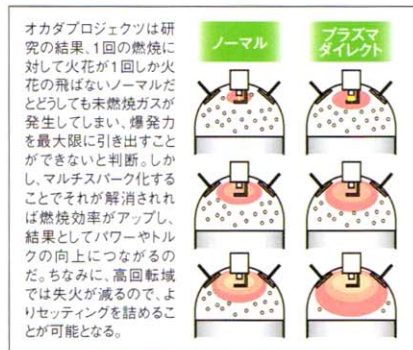
FA20は水平対向エンジンのためコイルの装着位置が非常に奥まった場所にあるが、エンジンを降ろさずに装着することは可能。プラグ交換のついでに施行すれば手間が省けるとのことだ。

OKADA PROJECTS
PLASMA DIRECT

価格: 99,750円



プラズマダイレクトは、車種によって火花を飛ばす回数や飛ばしている時間などを内部の回路で細かく調整しており、車種毎に最適な燃焼状態になるように設定されている。詳しくは企業秘密だが、コイルの巻き数や線径などを工夫し、一度に火花として放電される電流量＝火花の強さを高めているのだ。



こちらはノーマルとプラズマダイレクトの1次電圧をオシロスコープで比較したものの。ノーマルは図のように1回のみ火花となるが、プラズマダイレクトは複数回のスパークを生じさせる。しかも、この波形のスパークが低回転域から高回転域まで常に持続する。そのため、全域での効果を発揮できるのだ。

火花を増幅するマルチスパークで
 FA20本来のパワーを解放する

点火系のチューニングはその効果を目視することができないため、中には敬遠してしまうユーザーも少なくないだろう。しかし、このパーツは吸入→圧縮→燃焼→排気というエンジンの行程に深い関わりを持っており、やり方次第では、驚くほどのチューニング効果を得ることができるのだ。

ここで紹介するオカダプロジェクトの「プラズマダイレクト」は、そんな点火系チューニングの代表的な存在。これはプラグのスパーク力を劇的に高めることができる点火システムで、その最大の特徴は本体内の特殊機構によって実現したマルチスパークシステム。

通常1回の燃焼に対して1回しか飛ばないプラグの火花を複数回(3回以上)に増やすというものである。

燃焼室内では混合気に着火することで小さな火種が生まれ、この火種が燃え広がることでピストンを動かす爆発力を得ているのだが、火花を複数回発生させるとノーマルよりも火種を大きくすることができ、これが燃え広がる速度を大幅にアップ。燃焼効率を高めてパワー&トルクの向上を狙うという仕組みだ。

「プラズマダイレクトの効果は全域で感じることができますが、特に低中速トルクは装着したユーザーのほとんど

が体感できるレベルでアップします。信号待ちのスタートやハーフアクセルで走るときに、クルマが軽くなったように感じるでしょう」とはオカダプロジェクトの伊藤氏。

確かに目で見えることは不可能だが、その効果はノーマル、チューンド問わず、鵜呑みに体感できるもの。点火系チューニングに抵抗のあったユーザーは、ぜひとも試して頂きたい。

編集部インプレッション!

まずはノーマルの状態で試乗し、その後プラズマダイレクトを装着してその効果を試してみたところ、アクセルを踏み込んだときにクルマが前に出る感覚が全く違うではないか。それが特に顕著に感じたのが、高速道路の加速帯で合流のためにアクセルオンしたとき。クルマの動きが明らかに軽く、それほどアクセルを踏まなくてもクルマが前に進んでくれるので燃費向上にも効果があるように感じた。これはサーキットなどで高回転をガンガン回すよりも、街中での乗りやすさを高めるために装着するという使い方がしっくりくるアイテムだろう。



オカダプロジェクト
伊藤和幸氏

FA20エンジンは3000rpmから4000rpmにトルクの谷がありますが、プラズマダイレクトでいくらかは解消できます。街乗りでも大きな影響を与える回転域ですので、乗り味は確実に変わってきますよ。